

## 朝礼 校長講話（2月18日）

まずはじめに訂正をします。前回の朝礼で、「3学年がそろって朝礼をするのは、あと1回しかない」という話をしましたが、インフルエンザがはやっているということで1回中止しましたので、その分がもう1回あります。

さて、以前に「節分」の話をした時に、その翌日が「立春」で暦の上では春だという話をしました。二十四節気とって、一年を24に区切って表す言い方です。実は、その「立春」からもう次の節気がやってきて、明日は「雨水（うすい）」と言います。「あまみず」と書いて「うすい」と読みます。これは、これまで雪だったのが、しだいに雨に変わってことを表しています。つまり、雪になるような寒さは和らぎ、雨に変わっていく、それだけ春が近づいてきたということです。ちょうど、今週の天気予報でも、雨の日が多いという予報です。少しずつ春が近づいていますね。

話は変わりますが、先ほど、読書感想文と命を大切に作文と、二つの表彰をしました。本を読んでどう感じたかを書く読書感想文。1学期に行った、中学生の娘さんを交通事故で亡くしたお母さんの話を聞いて感じたことを書いた作文。どちらもすばらしいもので、賞状をいただきました。心に思ったことや感じたことを文字に表すことを「表現」と言います。文字だけではなく、体で表現したり音やもので表現したりすることもあります。授業を見て回っていると、体育の時間にダンスをしている学年がありました。また美術では、これくらいの本片からバターナイフを創り出す取組をしていました。同じ曲を聴いても、同じ大きさの本片でも、出来上がってくるものはまったく違います。それが「表現」です。

実はこの「表現」、みなさんは、小学校の頃からずっと取り組んできました。そして、中学校でも同じように取り組んで、ずいぶんできるようになってきました。しかし、それが日常生活の中ではどうでしょうか。友だちとのやり取りなどで、それはうまく表現できていますか。以前にも話したことがあります、「ウザイ」や「やばい」という言葉で相手に伝わるでしょうか。残念なことに、それは伝わっていないようです。ですから、本当はこういうつもりだったのにと思っても、伝わらないものですから気まずい雰囲気になったりけんかになったりすることがあります。もったいないですよ。これだけ、いろいろな場面で表現を身につけているのに、それが日常生活で生かされていないのは。

普段の言葉でも気持ちや思いがしっかり表現できたら、毎日がもっと優しくやわらいだものになると思います。そんなことを心がけたいですね。